

社会貢献活動・環境保全活動

ミッションステートメントに定める目標「自然や社会とやさしく共存共栄する先進的な企業グループとなる」ことを目指し、私たちは社会貢献活動・環境保全活動に取り組んでいます。2018年のトピックスをご紹介します。

■「児童養護施設からの巣立ちプロジェクト」への協力を開始しました

当社では、2003年からオフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」の商材の寄贈プログラム「たのくんからの贈り物」を実施しています。これは運送途中で外装に破れが生じた商品などをNPO団体等に寄贈するものです。今までは主に事務用品や生活用品を寄贈し、喜ばれてきました。2018年からは家電・家具について、東京都武蔵野市を中心に活動するNPO法人プラネットカナルの児童養護施設から独り立ちする子ども達を支援する「巣立ちプロジェクト」に寄贈を始めました。

現在までに、当社から掃除機や炊飯器、衣装ケースなどを寄贈し、プラネットカナルを通じて子どもたちのもとに届けられました。



写真提供：NPO法人プラネットカナル

■ブラジルでの植林による環境保全活動

2011年の創業50周年記念事業として、ブラジル・アマバ州マカパに、コピー用紙の原料となるユーカリを植林し「たのくんの森」と命名しました。ユーカリは成長が早く、約6年で伐採できます。2017年から伐採を始め、「たのめーる」オリジナルのコピー用紙「たのくんの森 αエコペーパー」を作成しました。たのめーる事業20周年を記念し、1箱販売するごとに10円を公益財団法人日本ユニセフ協会、日本赤十字社、公益財団法人日本補助犬協会に寄付します。



2011年



2017年(伐採開始)



たのくんの森 αエコペーパー

■社会貢献セミナーの開催

社員向けのセミナーとして、3月に公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンの代表理事である今井悠介氏を招き「子どもの貧困」をテーマに講義をしていただきました。チャンス・フォー・チルドレンは東日本大震災の被災地等で、塾や習い事で使用できるスタディクーポンを貧困家庭の子ども達に提供し、家庭の経済格差による教育格差を解消し、貧困の世代間連鎖を断ち切ることに努めている団体です。当日はテレビ会議システムを使用し、全国の社員が聴講しました。

また、9月には公益財団法人日本補助犬協会の協力で補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)の理解を深める触れ合いイベントを本社ビルで開催しました。